

ならたけ病 (ナラタケ類・ポリポリ)

幼齢林地に多い。根～地際が侵されるため、針葉全体が赤く枯れ、枯死にいたる。

病患部ではヤニの漏出が見られる。根・幹の樹皮を剥ぐと白い菌糸膜がみられるほか、病状が進んだものでは黒色ひも状の菌糸の束（根状菌糸束）も認められる。

根が傷ついたり滞水等で弱った場合にかかりやすい。被害木を放置すると根状菌糸束の接触感染により被害が広がることもある。



左 病菌に侵されたカラマツ

右 発生したキノコ